

施策評価部会 文化事業調査シート

資料⑦

▼基本情報

事業名	第27回草津市合唱祭		開始年度	H3	
担当課	草津アマカホール	相手方	草津市合唱祭実行委員会		
計画の位置づけ	協働による文化活動の推進				
協働の形態	<input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 事業協力 <input checked="" type="checkbox"/> 指定管理				
協働の領域	市民主体 市民が自主的・自発的に責任を持って行う	市民主導 市民が主導で行い、行政等の協力が必要	市民・行政等 市民と行政等が連携・協力して行う	行政等主導 行政が主導で行い、市民の参画が必要	行政主体 行政が主体性と責任を持って行う
	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
H29決算額	264千円	主な内訳	報償費30千円、委託費205千円、印刷費29千円		
事業の目的	市民による実行委員会制により、より多くの市民や団体の参画を促し、交流、研鑽する場の提供と市民プロデューサーの育成を目的とする。				
事業の概要	草津市合唱連盟と共催。市内で活動する合唱団体を対象に出演者を募り、発表と交流の場を提供。草津アマカホールで1日開催。				
役割分担	市(指定管理者)		相手方		
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 予算執行 ・ 参加団体の募集 ・ 広報全般(チラシ、ポスター印刷等) ・ 当日舞台進行(音響、照明、道具手配) ・ 当日スタッフの手配 		<ul style="list-style-type: none"> ・ 会議資料の作成 ・ 全体のスケジュール管理 ・ 当日運営、司会 など		
課題	元々、市から草津市合唱連盟への委託事業として実施されてきた経過(H22まで)があることから、合唱連盟に指定管理事業としての認識が薄く、指定管理者のノウハウを生かした事業のプロデュースが困難。				

▼運営組織

組織形態	実行委員会	設置根拠			
事務局	草津アマカホール	会長	合唱連盟から選出		
委員の人数(定員)	15名	任期	1年	報酬	
委員の条件、資格	出演団体より選出された代表者(出演団体は公募)				
選出方法	全ての出演団体より1名ずつ				
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・ 合唱連盟が中心となって運営されており、指定管理者のノウハウを生かした事業のプロデュースが困難。 ・ 高齢化が進んでおり、階段が多いアマカホールでの開催が困難。 				

▼市民の参加形態(事業への出品、出演等)

参加の内容	出演および実行委員会への参加	参加費			
参加者の公募	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	審査	<input type="checkbox"/> 有	<input checked="" type="checkbox"/> 無	
参加の条件、資格	市内で合唱活動を継続的に行い、当日の運営を手伝える団体				
課題	・ 公募の団体は、実行委員としての意識が乏しく自身の発表が終わると解散される				

▼その他参考情報

H30年度の実施について	連盟の高齢化により、H30より草津クリアホールで開催。また、H30より合唱連盟の自主事業として交流会を企画されており、草津市合唱祭としては、積極的に公募枠を広げることを予定されている。
課題	市民音楽祭にも参加している団体が多く、出演団体が重なっているが、合唱祭とは曲風を変えるなど工夫をされている。